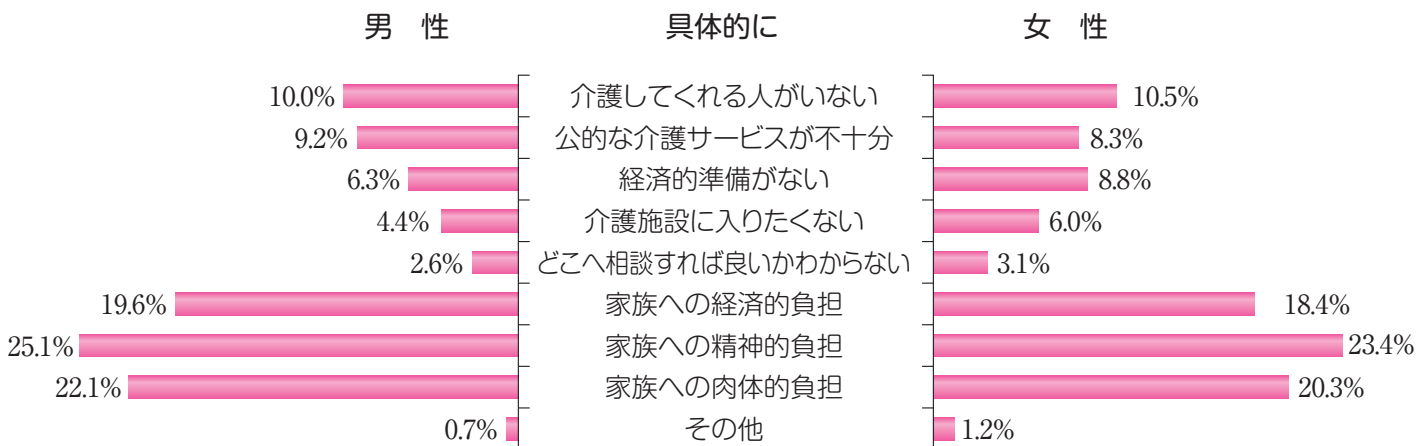


情報紙「ひまわり」では、40歳以上の男女428名に「介護」についてお聞きしました。  
自分の「介護」について、皆さんは考えたことはありますか？…

### (1) 自分が介護を必要とする状態になることに、不安を感じることがありますか？

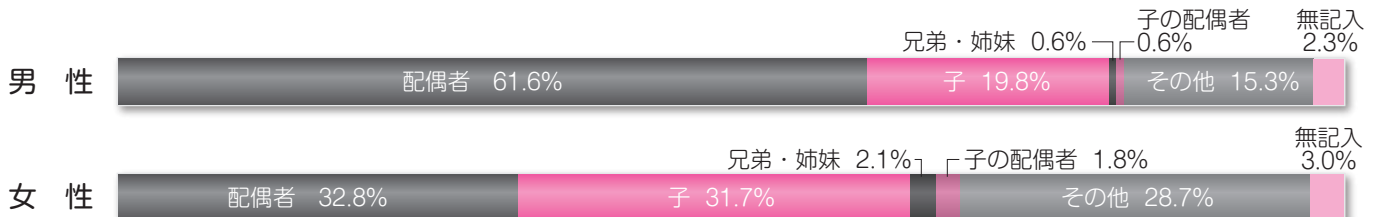


### (2) 不安がある方にお伺いします。具体的にどのようなことが不安ですか？



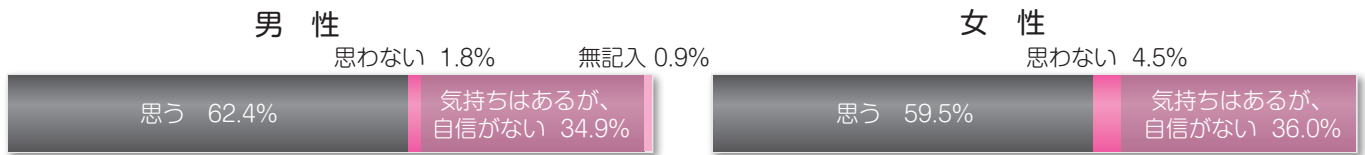
男女共40、50、60歳代は、家族への経済的・精神的・肉体的負担が上位を占めていますが、70歳以上の男女は、家族への経済的負担よりも介護してくれる人がいない事に不安があると思っています。そして、70歳以上の女性の10人にひとりには介護施設に入りたくないと思っています。

### (3) 自分が介護を必要とする状態になった場合、誰に介護をしてもらいたいですか？



男性はどの年代でも配偶者と答えた方が6割を占めていますが、女性の40歳代は「その他」、60歳代は「配偶者」、50歳代と70歳以上は「子」となっています。  
また、男性で「子の配偶者」と答えた方は、0.6%に対し、女性は1.8%でした。

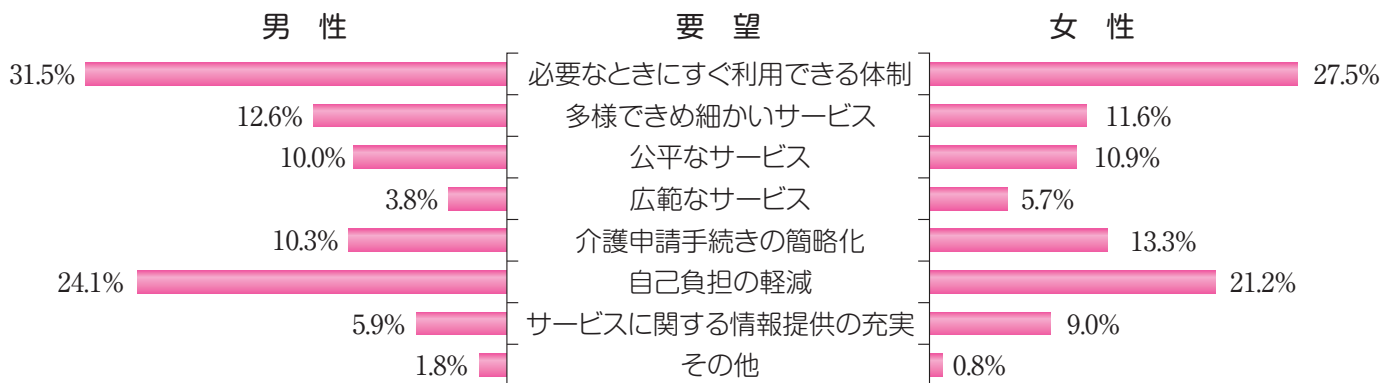
(4) (3)で、配偶者と答えた方に伺います。あなたも配偶者を介護したいと思いますか？



配偶者の介護を希望している人で、自分も配偶者の介護をしたいと思う人は男女とも6割の人ががしたいと思っていますが、年代別では、40歳代の女性は「気持ちはあるが、自信がない」が6割近くあります。



(5) 公的な介護サービスに対する要望はありますか？



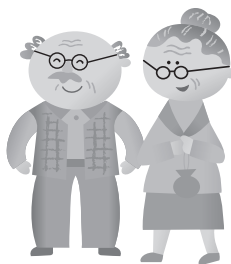
ひらめき教室 (10回シリーズ)

定員 (25名)

笑いあふれる、楽しいゲームで脳を活性化させ、認知症を予防する教室

日時 平成25年9月9日(月)  
午前10時～12時00分

場所 松阪公民館 1階ホール  
参加者 男5名・女6名



参加者の声

ご夫婦で参加

Aさん(男性)は、知人から紹介してもらいひらめき講座があることを知った。

Bさん(男性)は、チラシで知った。

二人とも最初は乗り気ではなかったが、今では妻も一緒に参加し、毎週ひらめき講座の日を楽しみにしている。同年代の人とのふれあいの場になっており、喋ったり笑ったりできるのが良い。

毎回教室に来るまでその日にどんなことをするのか分からず、楽しみにしている。

Cさん(女性)

初めて参加しました。行ったつもりの旅行の計画を立てたり、指を使ってグッパ一、リズム体操、じゃんけん、歌いながらお手玉回し、楽器を演奏しながら歌ったり笑いが絶えず、昔の遊びを思い出していました。

ひらめき教室 9月9日

～本日の内容～

- 10時～ ○ご挨拶  
夢の旅行
- ウォーミングアップ  
・指かぞえ  
・歌いながら1・2・3  
・グッパ一体操  
・グーチョコキパー
- リズム2拍子(兎と亀)
- リズム3拍子(故郷)
- リズム4拍子(ふじの山)
- お手玉回し(お猿のかごや)
- ドジョウさん
- 10時40分～ ○頭の体操  
・ことば集め ・ビンゴゲーム
- 11時～ ○茶話会  
子どもの頃に楽しんだ遊び
- 11時20分～ ○太鼓の合奏  
○じゃんけんゲーム
- 12時 終了

## 濱口 敦子さん

母が認知症になり、自治会長さんに地域包括支援センター、支援センターでは“認知症の人と家族の会”を紹介して頂きました。

認知症に対する知識もないなかで、訳がわからないまま、「自分しか介護していく者がいない」「何で私ばかり」と悩む事もありました。

“家族の会”で初めて自分の思っている事を吐き出し、それに対し共感していただき、悩みを共有していくなかで、経験者の方に知識・情報を頂き、そういう事を重ねる事で、少しずつ私自身の介護する力を頂けたように思います。

家族の会三重県支部として各市で家族を対象にしたつどい・交流会を開いていましたが、松阪は残念ながら参加者が少なかったです。周知されていないというのが大きな問題であります。

家族の会には、いつも3~4人の方がみえます。

まずは、認知症というのは恥ずかしい病気ではない、誰でもかかり得る普通の病気であるという事を知って頂きたい。一人では介護は出来るものではない事を自身で分かってほしい、家にこもるのではなく皆さんに知ってもらって、助けて頂ける事は助けてもらいましょう。そして、介護は60%で頑張り過ぎないで下さいとお話させてもらっています。ご本人さんの為にも、介護してくださっている方の健康というのが一番なんです。



【家族の会】※事前申込みは不要です。

開催・・・偶数月 第三水曜日 午後1時30分～午後4時

場所・・・松阪市中央町343-6 濱口宅

問合せ・・・電話 090-4859-7204

高齢者介護を社会全体で支える体制を整えるため、平成12年（2000年）に介護保険制度が創設されてから14年目になりました。この間、同制度により介護サービスの充実が図られています。しかしながら今後、高齢者人口の増加に伴い、ますます、要介護者が増えることが見込まれており、介護問題は多くの方が直面します。

## 馬場 栄一郎さん

妻を介護しています。

本人自身もおかしいなという感じがあったのか、通院をしていました。

時々訳の分からない電話をかけてきたり、同じ物をいくつも買ってきたり、時には買ったものを全部忘れてきたり、そのうちに自分で電話をかけ救急車を呼ぶことが頻発しました。認知症の疑いということで紹介された専門医の先生から、「あなたが倒れたらどうするのですか。介護保険を利用しなさい。」と強く勧められました。介護保険のことは聞いてはいたけれど、いざ自分の事になると…。

妻が一昨年冬、大腿骨を骨折、約50日間入院しました。筋力の衰えから歩行が困難になり、段差の多い家では車椅子による移動もままならず、思い切ってバリアフリーのマンションへ引っ越しました。月～土は施設で週末は自宅という生活です。

17年前に他界した母も今から考えると認知症でした。介護保険は勿論認知症という言葉さえなかった当時に比べると、いろいろ問題はあるものの恵まれていると思います。しかし、民生委員やケアマネージャーなど相談に乗って頂ける方がみえることや、介護保険料を払いながら利用の仕方が分からず、一人で介護に悪戦苦闘という方が多いのも事実です。家族による介護が双方に負担にならないよう、介護保険があることを、またその使い方をみんなに知ってほしいと考えます。



**松阪市地域包括支援センター**とは、松阪市が委託した公的な機関で、高齢者の方が住み慣れた地域で生活を続けられるよう5ヶ所に設置されています。

名 称	担当地域 公民館	電 話
第一地域包括支援センター	第一・第二・幸・神戸・徳和	25-1070
第二地域包括支援センター	嬉野管内・三雲管内・阿坂・伊勢寺	42-7255
第三地域包括支援センター	飯南管内・飯高管内	32-5083
第四地域包括支援センター	第四・東・橋西・松ヶ崎・港・西黒部・東黒部・朝見・漕代・機殿・櫛田	51-5885
第五地域包括支援センター	花岡・松尾・大河内・宇気郷・射和・大石・茅広江	25-4300

# 事業報告

## 週間の啓発

平成25年度のキャッチフレーズは、女性がさまざまな分野で活躍することにより、日本が元気になることが伝わるような「紅一点じゃ、足りない。」です。  
男女共同参画週間（6月23日～29日）に合わせ、市役所1階ロビーにてパネル展（6月21日～28日）を開催し、松阪駅・伊勢中川駅にて街頭啓発（6月24日）を実施しました。

## 子どもたちへの啓発

子どもたちが性別にかかわらず個人として尊重され、自分らしく伸びやかに生活することはどういふことを考え、男女共同参画についての意識を高めるため、紙芝居、絵本およびワークショップを通して啓発を進めています。

- 中原キッズクラブ
- 飯南放課後児童クラブ
- こいしろキッズクラブ
- だいよんのびのびクラブ
- かささぎキッズクラブ
- 松江放課後倶楽部

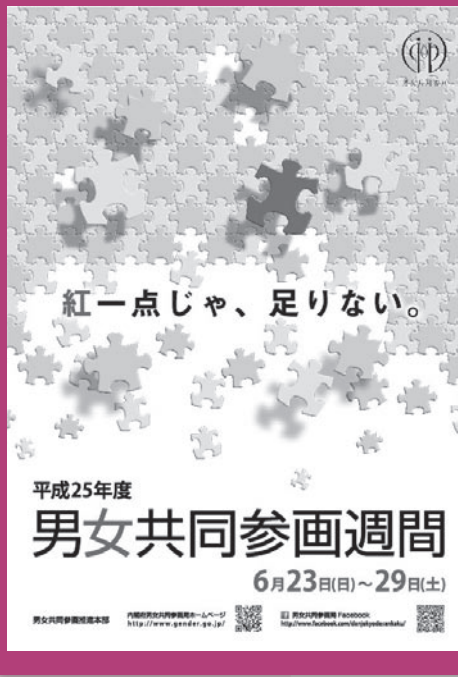
## 男女共同参画 松阪フォーラム

家庭、職場、地域等あらゆる場面で男女が良きパートナーシップを築き、より良い未来を描くために「変わる男女の生き方」をテーマに松阪フォーラムを開催し、300名の参加がありました。



そうなんです。

1人じゃ、なかなか声が届きません。  
男性も女性もともに活躍できる  
社会に向けて男女共同参画に  
ついて考えてみませんか。



## 男女共同参画 さ・し・ず・せセミナー

男女が互いに尊重し合い、心豊かにいきいきと暮らせる男女共同参画社会の実現を目指し、セミナーを開催しました。

- 「自分らしく生きるために」  
あつさん(シンガーソングライター)
- 「女性と農業」  
～いただきますの本当の意味って!?～  
農業女性グループ「みっくすべじたぶる」
- 「笑って身も心もほぐし、ちょっと考えてみましよう！お隣の人のことを」  
切磋亭琢磨さん(社会人落語家)
- 「DV・ストーカーの現状と対策について」  
藤井孝司さん  
(三重県松阪警察署生活安全課長)

## 三重県内連携 映画祭2013



(C)2011「しあわせのパン」製作委員会

### 【参加者の声】

「心のよりどころがあれば、人間はまた頑張れるもんだと思いました。」「とても感動しました。」「自分の人生を思い出し涙が…。」等よろこびの声をたくさん聞かれました。

## 男女共同参画情報紙 制作スタッフを募集しています

この情報紙は、ネットワークづくりや男女共同参画に関する話題提供、市民の皆さんの情報交換や交流の場として利用していただくものです。男女共同参画情報紙の制作に、あなたも参加してみませんか。

◆企画・編集 松阪市男女共同参画情報紙制作スタッフ  
角 喜久子 北村 真寿美 竹上 育子 松浦 光義

◆発行 松阪市男女共同参画室  
〒515-8515 松阪市殿町1340番地1 TEL 0598-53-4339 FAX 0598-22-1055  
E-mail: danjyo.sec@city.matsusaka.mie.jp http://www.city.matsusaka.mie.jp

